

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(3)

(11)Publication number : 05-250388  
(43)Date of publication of application : 28.09.1993

(51)Int.Cl.

G06F 15/21  
G06F 15/24

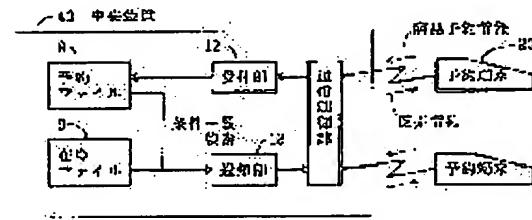
(21)Application number : 04-051017  
(22)Date of filing : 10.03.1992

(71)Applicant : FUJITSU LTD  
(72)Inventor : TAKAHARA JUNICHI

## (54) ARTICLE RESERVATION PURCHASE SYSTEM

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To enable a consumer to purchase an article with desired purchase conditions and to provide proper sales information by a shop side and promote sales.  
**CONSTITUTION:** The article reservation purchase system is constituted by connecting plural reservation terminals 20 to a central device 40 equipped with a stock file 9 by lines, and the central device 40 is provided with an acceptance part 12 which receives article reservation information having specific purchase conditions from the reservation terminals 20 and stores the information in a reservation file 8 and an information part 13 which matches the stock file 9 and reservation file 8 with each other and informs the reservation terminal 20 whose reservation is accepted of sales information on an article when the article satisfying the purchase condition is present in the stock file 9; and the reservation terminal 20 informs the central device 40 of the article reservation information and the central device 40 informs the reservation terminal 20 of the sales information on the article satisfying the purchase conditions.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 20.10.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 29.05.2001

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998,2000 Japanese Patent Office

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-250388

(43) 公開日 平成5年(1993)9月28日

3

(51) Int. Cl.

G 06 F 15/21  
15/24

識別記号

330

府内整理番号

7218-5L  
8724-5L

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 7 頁)

(21) 出願番号

特願平4-51017

(22) 出願日

平成4年(1992)3月10日

(71) 出願人

000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

(72) 発明者

高原 順一

群馬県前橋市大友町2丁目23番地の5 株式会社群馬富士通内

(74) 代理人

弁理士 井桁 貞一

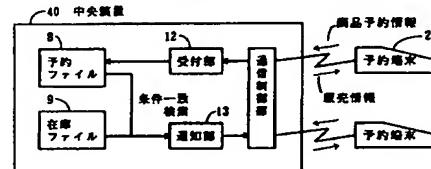
(54) 【発明の名称】商品予約購入システム

(57) 【要約】

【目的】商品予約購入システムに関し、消費者は希望する購入条件で商品が購入でき、店舗側は適切な販売情報を提供して販売促進を行うことを目的とする。

【構成】在庫ファイル(9)を備える中央装置(40)と、複数の予約端末(20)とを回線で接続した商品予約購入システムであって、該予約端末(20)から入力された所定の購入条件を備えた商品予約情報を受付けて予約ファイル(8)に格納する受付部(12)と、前記在庫ファイルと予約ファイルとを照合し、該購入条件を満たす商品が該在庫ファイルに存在する場合は、予約受けた該予約端末に該商品の販売情報を通知する通知部(13)とを該中央装置(40)に設け、予約端末(20)は、前記商品予約情報を該中央装置に通知し、該中央装置は、購入条件を満たした商品の販売情報を対応する該予約端末(20)に通知するよう構成する。

本発明の原理図



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】 在庫ファイル(9)を備える中央装置(40)と、複数の予約端末(20)とを回線で接続した商品予約購入システムであって、

該予約端末(20)から入力された所定の購入条件を備えた商品予約情報を受付けて予約ファイル(8)に格納する受付部(12)と、

前記在庫ファイルと予約ファイルとを照合し、該購入条件を満たす商品が該在庫ファイルに存在する場合は、予約受付けした該予約端末に該商品の販売情報を通知する通知部(13)とを該中央装置(40)に設け、予約端末(20)は、前記商品予約情報を該中央装置に通知し、該中央装置は、購入条件を満たした商品の販売情報を対応する該予約端末(20)に通知することを特徴とする商品予約購入システム。

【請求項2】 在庫ファイルを備えて発注業務を行う中央装置と、複数の予約端末とを回線で接続した商品予約購入システムであって、

該予約端末から入力された所定の購入条件を備えた商品予約情報を受付けて予約ファイルに格納する受付部と、前記在庫ファイルと予約ファイルとを照合し、該購入条件を満たす商品が該在庫ファイルに存在する場合は、予約受付けした該予約端末に該商品の販売情報を通知する通知部と、

予約量と必要な在庫量とに基づき該商品の発注量を決定する発注部とを該中央装置に設け、予約端末は前記商品予約情報を該中央装置に通知し、該中央装置は、該商品予約情報に基づき該商品の発注量を決定するとともに、購入条件を満たした商品の販売情報を対応する該予約端末に通知することを特徴とする商品予約購入システム。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は商品予約購入システムに関する。

**【0002】**

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】 消費者が日用品、特に生鮮食料品を購入する際の条件は、それぞれの生鮮食料品の旬（購入したい時期）、金額の妥当性（以下、購入時期、価格、数量等を購入条件と称する）等である。しかし、生鮮食料品は価格変動が激しいため、消費者は自分の購入条件に見合う商品を購入するためにはスーパーに日参しなければならず、しかも、「商品が購入条件に見合った時には、既にその商品が売り切れていた」等の憂き目にあうケースが多い。

【0003】 このケースは、店舗から消費者に対して提供する販売情報（商品情報）が、新聞広告等の画一的な情報に限られていて、消費者が欲する情報が得られないためと、店舗側がその購入条件のときの潜在的購入者数が把握しきれていないことによるものであり、消費者にとっては購入に手間がかかり、店舗側にとっても、ミス

ミス販売機会を逃がしていることになる。

【0004】 本発明は、上記課題に鑑み、消費者に適切な商品情報を提供して販売促進を行う商品予約購入システムを提供することを目的とする。

**【0005】**

【課題を解決するための手段】 図1の本発明の原理図において、20は複数の予約端末で、契約購入者宅等に設置される。40は中央装置で、在庫ファイル9と、所定の購入条件を備えた商品予約情報を予約端末20から受付けて

10 予約ファイル8に格納する受付部12と、在庫ファイル8と予約ファイル9とを参照し、該購入条件を満たす商品が該在庫ファイル9に存在する場合は、予約受付けした該予約端末20に該商品の販売情報を通知する通知部13とを備える。

**【0006】**

【作用】 契約購入者は、予約端末20を用いて所定の購入条件を付けた商品予約情報を中央装置40に入力し、中央装置40の受付部12は、これを受付けて予約ファイル8に格納する。一方、中央処理装置40の通知部13は、予約フ

20 ァイル8と在庫ファイル9とを参照し、在庫ファイル9に購入条件（時期、数量、金額等）を満たす商品が存在すれば、その商品の販売情報（販売日時、金額等）をその予約端末20に通知する。

【0007】 以上により、購入者にとっては、購入したい商品を希望する金額で、且つ希望する日に購入することができ、また店舗側は購入者数を把握できるので、販売機会を逃がすことはない。

**【0008】**

【実施例】 図2は一実施例の構成図、図3は予約・在庫状況を表す図、図4は処理フローチャート図である。図2において、店舗装置1（中央装置40に対応する）は、

30 店舗内事務所等に設置される計算機システムで、キーボード等より構成される入力部2、プリンタ3、表示部4、入力部2を制御する入力制御部5、プリンタ3、表示部4を制御する出力制御部6、店舗装置1の各部を制御する基本制御部7、予約端末20より予約入力される商品予約情報を格納する予約ファイル8、在庫量を管理するための在庫ファイル9、予約端末20ならびに問屋装置30と通信を行う通信制御部10、受付部12、通知部13、発注部14を備えて本発明の予約受付け、通知、発注処理を行なう商品情報管理部11等より構成される。

40 【0009】 予約端末20は契約購入者宅に貸与、設置されるもので、店舗装置1と通信する通信制御部21、予約端末20の各部を制御する基本制御部22、入力制御部23、商品予約情報等を入力する入力部24、店舗装置1より通知される販売情報（購入条件一致リスト）を印刷出力するプリンタ25、出力制御部26、表示部27等より構成される。なお、販売情報を印刷出力するプリンタ25の代わりに、店舗装置1及び予約端末20にファクシミリ通信機能50 を持たせて画像通信により通知してもよい。

【0010】問屋装置30は、各商品の問屋に設けられる計算機システムで、店舗装置1より発注伝票が送信される。なお、店舗装置1と予約端末20、店舗装置1と問屋装置30とは、それぞれ公衆回線で接続される。

【0011】図3は商品予約情報（予約者が予約時に入力する項目）例、予約ファイル内情報例、在庫ファイル内情報例を示したものである。ここで、例えば予約者Aが、予約端末20の表示部27と対話しつつ、品名（サンマ）、数量（10匹）、単価（150円）、購入時期（9/10~9/17）の購入条件を入力すると、この購入条件は、図示のごとく予約ファイル8に格納される。なお、予約ファイル8中、通知フラグは、購入条件を満たしてその予約者に通知したときオンにするフラグ、発注済フラグは、発注量に反映させたときにオンとするフラグで、共に2重通知、2重発注を防止するためのものである。

【0012】在庫ファイル9は現在における在庫状況を表したもので、（通常販売時1日予想販売量+予約量-残数量）が発注される。なお、店舗装置1にPOS端末が接続されている場合は、在庫管理は容易となる。

【0013】以上構成の商品予約購入システムにおいて、以下のような毎日の予約購入、発注業務が行われる。図4参照

(S1) 開店前に本日の生鮮食料品の金額を店舗装置1の入力部2より入力する。これにより、在庫ファイル9中の「本日金額」が更新される。

(S2) 続いて、通知部13は、予約ファイル8中の「時期」が当日に該当する予約者を抽出し、金額等の購入条件が一致（以内を含む）している商品を在庫ファイル9より検索する。

(S3) 一致している商品が在庫ファイル9内に存在していれば、その商品を予約した契約購入者（予約者）の予約端末20に、購入者条件一致リスト（前述した販売情報で、商品名、価格等をリストとしたもの）を通知し、購入を促す。そして予約ファイル8の通知フラグをオンにする。例えば、図3において、9月10日当日、サンマの価格が130円とすると予約者Aの希望価格より低く設定されているので、予約者Aには通知するが、予約者Bには通知しない。この通知は、予約端末20のプリンタ25に出力され、このリストを見た予約者Aは購入に出かけることになる。

(S4) なお、購入者からの予約は、受付部12によって随時受けられ、予約ファイル8に逐次格納される。

(S5) その受け付け時点で、本日の予約であれば、通知部13は、ただちに購入条件が一致するか否かを検索し、一致すればその予約者に通知し、対応する通知フラグをオンとする。

(S6) 業務終了後に発注業務を行う。このとき、発注部14は、

$$\text{予想販売量} = (\text{通常販売時1日予想販売量} + \text{予約量} - \text{残})$$

## 数量)

を算出して発注する。ここで予約量は、予約ファイル8中発注済フラグがオフで且つ「時期」が翌日に該当する商品の予約量を加算したものである。この発注は、問屋装置30に通信制御部10を介して通知してもよく、プリンタ3に出力して電話等で発注されてもよい。また、予約量として反映された予約者の発注済フラグは発注部14によってオンにされ、2重発注を防止する。

【0014】なお、予約ファイル8中、図3では省略したが、期日が経過した予約は消去される。以上のごとく、本システムは、予約端末から購入条件を入力し、この購入条件を満たした予約者に販売情報を通知するもので、購入者は希望する商品が購入できるとともに、店舗側は販売機会を逸する事がない。

【0015】なお、前述したように、店舗装置1としてPOSシステムと共にすれば、在庫量は容易に算出され、販売管理効果は大きい。

## 【0016】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、店舗装置と予約端末とを公衆回線を介して接続し、その予約端末より契約購入者が購入条件を入力して商品購入を予約し、これを受付けた店舗装置が、購入条件一致で予約者に通知するとともに発注に反映させるシステムを提供するものであるから、購入者は希望する商品を希望する条件で購入することができ、店舗側は販売機会を逸することなく、販売管理上の効果は極めて大きい。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の原理図

【図2】 一実施例の構成図

【図3】 予約・在庫状況を表す図

【図4】 処理フローチャート図

## 【符号の説明】

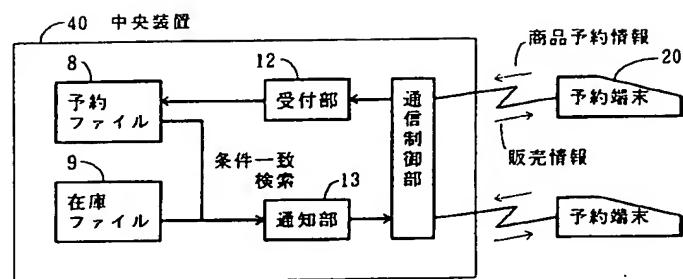
1	店舗装置
2	入力部
3	プリンタ
4	表示部
5	入力制御部
6	出力制御部
7	基本制御部
8	予約ファイル
9	在庫ファイル
10	通信制御部
11	商品情報管理部
12	受付部
13	通知部
14	発注部
20	予約端末
21	通信制御部
22	基本制御部
23	入力制御部

24 入力部  
25 プリンタ  
26 出力制御部

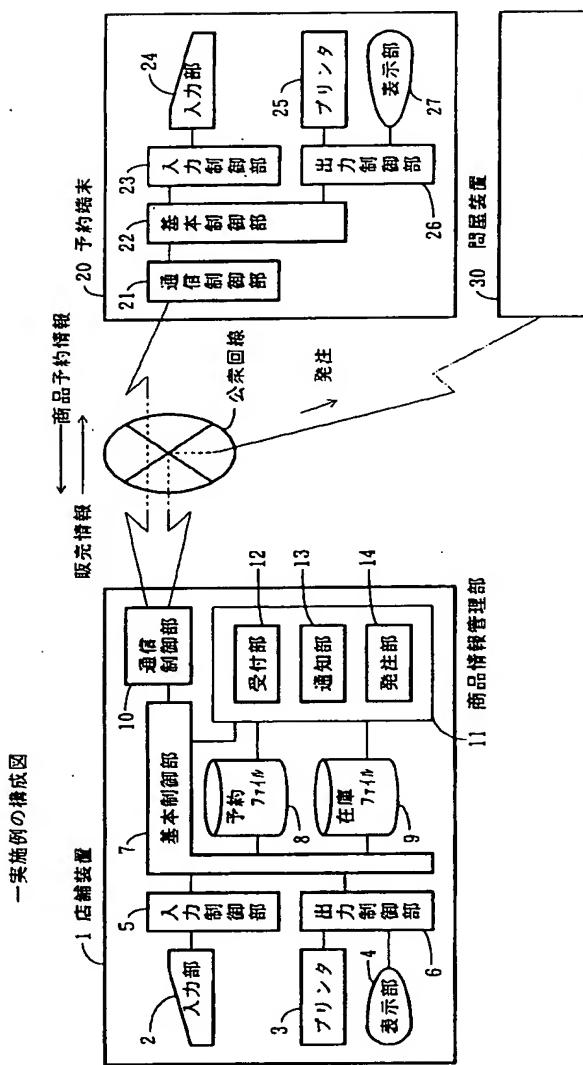
27 表示部  
30 問屋装置  
40 中央装置

【図1】

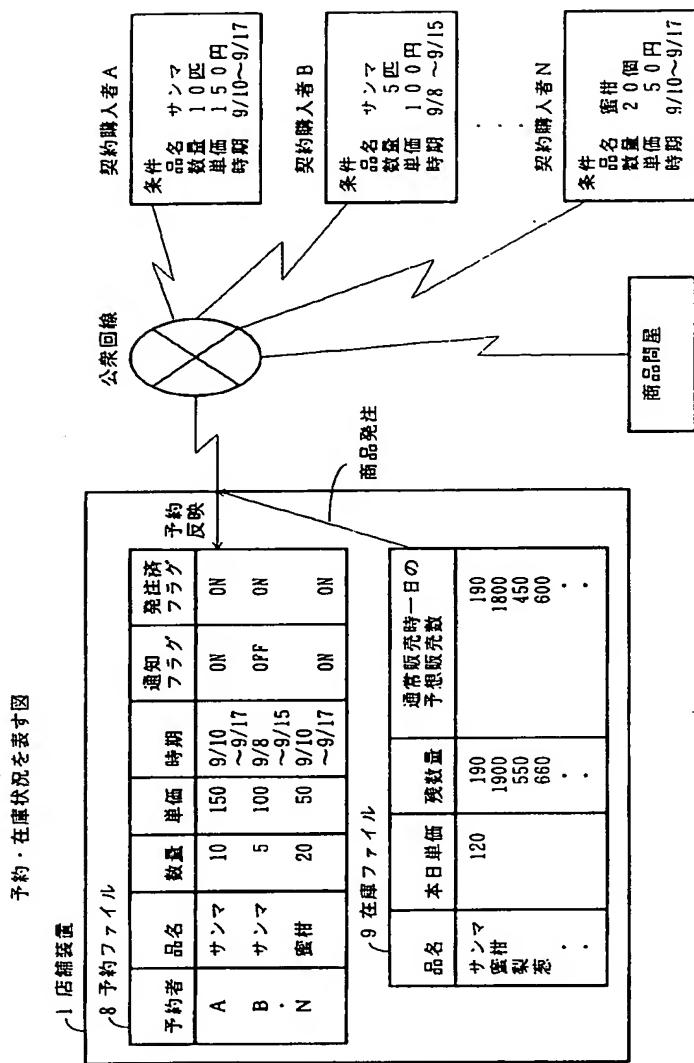
本発明の原理図



【図2】



【図3】



【図4】

処理フローチャート図

